

都筑区地域福祉保健計画



問合せ

都筑区福祉保健課（2階24番窓口）
〒224-0032 都筑区茅ヶ崎中央32-1
電話 948-2344 Fax 948-2354
Eメール tz-tifuku@city.yokohama.jp

都筑区社会福祉協議会
〒224-0006 都筑区荏田東4-10-3
電話 943-4058 Fax 943-1863
Eメール info@tsuzuki-shakyo.jp

都筑区地域福祉保健計画

横浜市都筑区福祉保健課
平成18年1月

横浜市広報印刷物登録 第170582号
種別・分類 B-QA116



人と人との

であい・ささえあい・わかちあい



マスコットキャラクター
つづき あい

都筑区役所
都筑区社会福祉協議会

目次

| | | | |
|----------------|----|---------------------------|----|
| I はじめに | 1 | 都田地区 | 17 |
| II 計画策定の経過 | 1 | 池辺地区 | 19 |
| III 計画の基本理念と目標 | 3 | 佐江戸加賀原地区 | 21 |
| IV 地域の行動計画 | | 川和地区 | 23 |
| 東山田地区 | 5 | 荏田南地区 | 25 |
| 山田地区 | 7 | 渋沢地区 | 27 |
| 中川地区 | 9 | 茅ヶ崎南MGC地区 | 29 |
| 勝田茅ヶ崎地区 | 11 | V 地域ケアプラザの行動計画 | 31 |
| かちだ地区 | 13 | VI 都筑区社会福祉協議会 地域福祉活動計画 | 32 |
| 新栄早測地区 | 15 | VII 都筑区役所と都筑区社会福祉協議会の行動計画 | 33 |

I はじめに

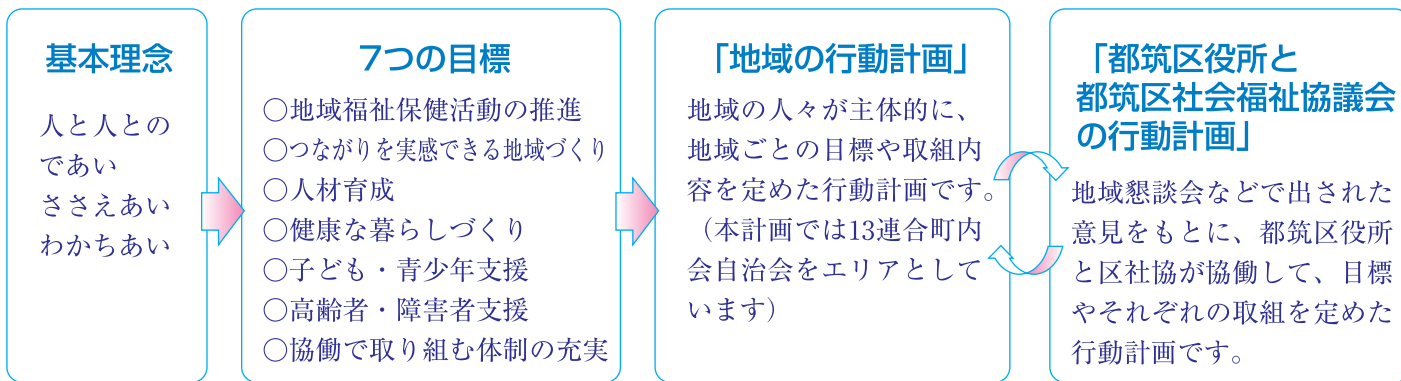
1 都筑区地域福祉保健計画とは？

誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができることを目指して、区民、地域、団体、企業と都筑区役所が、地域課題に対してともに取り組み、人と人との「**であい ささえあい わかちあい**」の仕組みをつくり、行動していくための計画です。

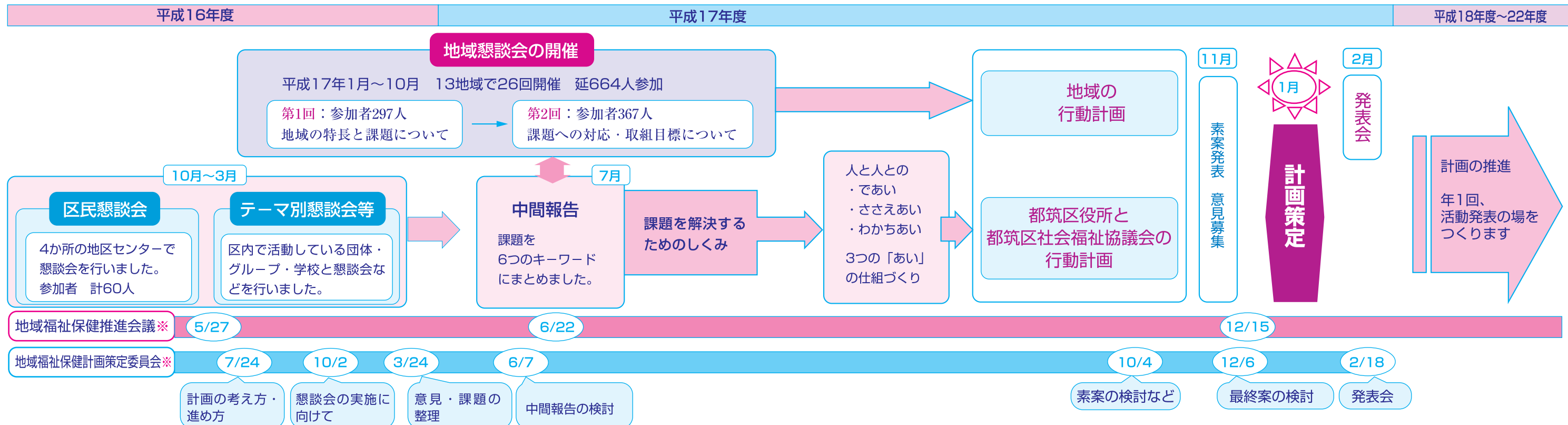
- 計画の対象 地域に暮らす人、地域で活動する人・団体など
- 計画の期間 平成18年度～22年度までの5年間

2 計画の構成

「地域の行動計画」と「都筑区役所と都筑区社会福祉協議会の行動計画」により構成されています。



II 計画策定の経過



※地域福祉保健推進会議………都筑区の保健・医療・福祉等の関係者で構成され、連携強化と地域福祉保健サービスの円滑な実施のために総合的に協議しています。
 ※地域福祉保健計画策定委員会…公募による区民・地域住民代表・学識経験者等で構成され、地域福祉保健計画を策定しました。

3 計画の特長

人と人との「**であい ささえあい わかちあい**」の仕組みづくり

仕組みづくりには、地域の人の理解と、協働のもとに取り組むことが不可欠であり、地域で顔の見える関係のきっかけである「**であい**」をつくり、その基盤の上に「**ささえあい わかちあい**」を実施できるような人のつながり、場、機会を広げていきます。

地域ごとの目標や取組内容を定めた「地域の行動計画」

各地域で根付いている行事や活動を充実するほか、新たな取組を推進するなど13地域の行動計画を定め、「3つのあい」の実現を推進していきます。

都筑区役所と都筑区社会福祉協議会の一体的な行動計画

区役所と区社協が協働するとともに、それぞれの取組を推進していきます。

4 計画の位置づけ

平成15年4月に施行された社会福祉法において、「地域福祉計画」は市町村で定めることになりました。横浜市は、横浜市地域福祉計画、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、横浜市障害者プラン、横浜市青少年プラン、横浜地区地域保健医療計画、健康横浜21、横浜市中期政策プラン、かがやけ横浜子どもプランを策定しています。



1: 主に都市計画分野についての都筑区の将来像を明らかにするとともに、中長期のまちづくりの方針となるもので平成14年5月に策定しました。
 2: 子育てについての都筑区の緊急的課題として、平成16年度に策定しました。地域福祉保健計画の一部として位置づけます。

Ⅲ 計画の基本理念と目標

推進主体

地域
(個人・家族・町内会自治会・地域活動団体・学校・企業)
都筑区役所・都筑区社会福祉協議会

協働で推進

5年後の地域の姿

- お互いにあいさつや言葉を掛け合う人が増えています。
- 地域の行事や活動に参加する人々が増え、お互いの顔が見える関係ができています。
- 本人から困ったとき助けてほしいと言え、お互いさまの感覚で受け止めることができる人が増えています。
- ボランティアをする人や活動する団体が増えています。
- 多様な価値観やお互いの立場を理解する人が増えています。
- 地域で知恵や力を発揮する人が増えています。

区民の方々が日頃感じている、福祉・保健に関する生活課題を6つの視点から整理したもので、今後活動を推進する視点にもなります。

基本理念

人と人との
であい
ささえあい
わかちあい

7つの目標

- **地域福祉保健活動を推進します**
地域の福祉保健活動に関する情報の共有化を図り、相互交流を活発にします。
 - **人と人とのつながりを実感できる地域をつくります**
身近な人との声かけが多くあり、今日的な「もちつもたれつ」「お互いさま」という関係を実感できる地域づくりを目指します。
- **人と人・人と活動を結びつける人材を育成します**
「担い手、受け手」、人と活動を結びつけるなど地域活動の人材を育てます。
 - **健康な暮らしづくりをすすめます**
地域の特性、年代にあわせた、健康づくりに取り組みます。
- **子ども・青少年の健やかな成長や自立を支援します**
地域ぐるみの子育て支援や青少年育成を充実していきます。
 - **高齢者・障害者が安心して、いきいきと暮らせるよう支援します**
地域で安心して暮らすための仕組みを共に考え、創っていきます。
- **区民、地域、団体、企業等と行政が協働で取り組む体制を充実します**
相互に目標達成に向けて確認するとともに協働を推進する体制を整備します。



6つの視点

| | | |
|---|--|--|
| ひと 顔の見える関係をつくろう 多様な地域活動への参加の実現と活動の担い手を広げよう | 情報 地域の情報が集まり、届く仕組みをつくろう | 意識（気持ち） 今日的な「お互いさま」「もちつもたれつ」の関係をつくろう |
| 場 人と人が出会う様々な場をつくろう 活動拠点を地域に増やそう | つながり（ネットワーク） 皆で支えあうための、人・活動のネットワークをつくろう 結びつける人材を育成しよう | 地域 地域とのつながりや、まちへの思いなどを大切に育てよう |

「であい」とは

- 人と人がであう
- 人が「場」や「活動」とであう
- 人の気持ちとであう

「であい」から生まれてくるものは

- 人と人がつながる
- 世代を超えてつながる
- 人と人がお互いに意識する
- 気持ちが優しく・温かくなる
- 仲間意識が芽生える

「であい」のきっかけは

- 近所の人へのあいさつや声かけから
- 地域の自主的な活動に参加して
ボランティアグループ、趣味の集まりなど
- 地域の行事や活動に参加して
お祭り、盆踊り、納涼会、餅つき、赤ちゃん会、防犯パトロール、公園清掃など

「ささえあい」とは

- 困ったとき、助けてほしいとき、ささえしてほしいと言える
- 誰もが「担い手」であり「受け手」になりささえあう
- できる人ができることをしてささえあう

「ささえあい」から生まれてくるものは

- お互いをいたわる・おもしろい気持ちや意識が芽生える
- 「お互いさま・もちつもたれつ」の関係ができる
- いつでも支えてもらえる安心感が生まれる

「ささえあい」のきっかけは

- 研修会などに参加して
- 地域の様々な活動をとおして
- ボランティア活動をとおして
- 子ども、青少年、子育て中の人、障害者、高齢者と行動をとともにして

「わかちあい」とは

- 多様な価値観をわかちあう
- 様々な体験・経験をわかちあう
- 気持ちをわかちあう
- 知恵や力・時間・技術・空間などをわかちあう

「わかちあい」から生まれてくるものは

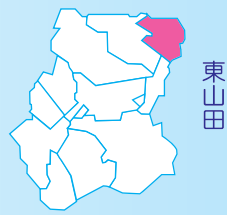
- お互いの立場や考えを理解・尊重することができる
- お互いを思いやる心が芽生える
- お互いの知恵や力を発揮できる

「わかちあい」のきっかけは

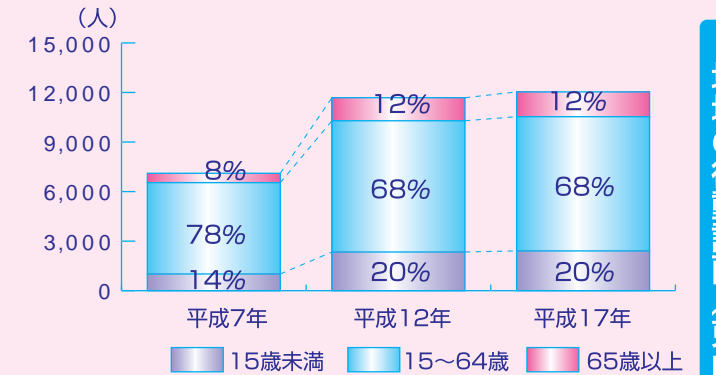
- 様々な体験・経験について仲間や地域で話しあって
- 子ども、青少年、子育て中の人、障害者、高齢者と行動をとともにして

IV 地域の行動計画

東山田地区



*人口 約12,000人
 *世帯数 約4,400世帯
 *平均世帯人員 2.72人
 *平均年齢 37.5歳
 (平成17年3月現在)



目標 1 身近な地域での顔の見える関係づくりをさらに進めよう!

現状と課題

町内会単位ではお互いの顔が見えにくいので、災害時などの助けあいに対する不安があります。身近な地域での、顔の見える関係づくりが必要です。



敬老会

これからこんなことに取り組みます!

- ◆「組」単位で顔の見えるつながりを 広げ、安心へとつなげます。
- ◆まずは隣近所から、声かけや助けあいを進めます。

【推進主体】

町内会自治会、組、地区社会福祉協議会など

目標 2 現在行っている活動を着実に進めていこう!

現状と課題

町内会活動などへの参加者が限られていることが多く、参加しやすいきっかけづくりや、情報提供の工夫が必要です。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆情報を届けたい人へ、回覧板を回すときに一声かけて、町内会、自治会活動などの情報が届くようにします。
- ◆こつこつ、地道に、丁寧に、活動に取り組んでいきます。

【推進主体】

町内会自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員 老人クラブなど

目標 3 地域の行事などを通して、地域・学校・家庭のつながりを深めよう!

現状と課題

これまでの学校との関係の積み重ねが、世代を超えた交流へとつながっています。このような活動を今後も継続していくことが必要です。



地域の中学校から、「生徒を地域の活動に参加させてほしい」と話があり、中学生が盆踊りの屋台を手伝い、地域の人との交流ができました。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆盆踊り、ふれあいニコニコパーティーなど地域の行事に、子どもから高齢者までみんなで参加し、さらに盛り上げていきます。
- ◆地域の小・中学校とのよい関係（地域との交流やつながりを積極的につくっている）を活かし、交流を促進します。

小学生が自分の住む地域で、高齢者と会食会をしています (ふれあいニコニコパーティー)

【推進主体】

町内会自治会、小・中学校、PTA 老人クラブ、配食グループなど

目標 4 地域の身近な場所で、親子のたまり場をつくらう!

現状と課題

子育て支援センター「ポポラ」はできましたが、センター北駅まで出向くのが大変です。身近な地域に親子のたまり場が必要です。



これからこんなことに取り組みます!

- ◆赤ちゃん会の卒業生を対象に、誰でも気軽に集まれる場所をつくります。
- ◆地域にあるコミュニティハウスやケアプラザなどを活用します。
- ◆子育てを地域全体で見守っていきます。

【推進主体】

町内会自治会、民生委員児童委員、保健活動推進員など



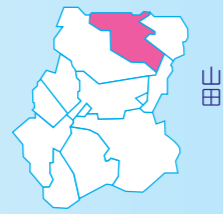
さわやか東山田 (地域支えあい連絡会)
 ぞうさんくらぶ (ママと子の広場)

〔子育て支援〕
 育児教室

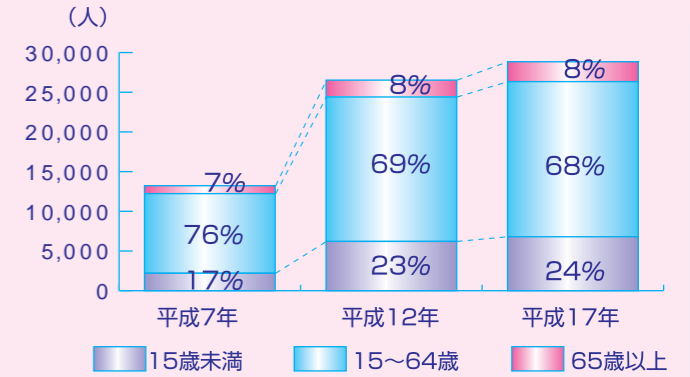
〔高齢者〕
 東光会、L&G (老人クラブ)、たけのこ会 (配食サービス)
 ボランティアふきのとう (会食会) 生き生きクラブ (生活支援ボランティア)
 ケアプラ談話室 (茶話会) 健康リーブくらぶ、健美会

このほかにも地域の活動があります

山田地区



*人口 約28,800人
 *世帯数 約10,100世帯
 *平均世帯人員 2.84人
 *平均年齢 34.6歳
 (平成17年3月現在)



目標1 顔の見える関係から地域のネットワークをつくろう!

現状と課題

地域の中で顔の見える関係がとりにくく、災害時の助けあいへの不安などがあります。身近な地域のネットワークが必要です。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆町内会に入っていない人にも情報が伝わるように、日常的に声をかけあい、PRの方法を工夫していきます。
- ◆地域の行事や活動に、参加しやすいきっかけづくりをします。
- ◆災害時の助けあいの方法について、障害者、高齢者など多くの人と一緒に話しあっていきます。

【推進主体】

町内会、民生委員児童委員
保健活動推進員など



お神輿を担ぐ集い



ただいま活動中!



このほかにも地域の活動があります

山田地区「わ」の会 (地域支えあい連絡会)

〔子育て支援〕

育児教室、北山田「ママの広場」、南山田「ママと子の憩いの場」
「新米ママ集まれ」 (子育て支援)

〔高齢者〕

南山田おしゃべり会 (高齢者おしゃべり会)
南山田末広会、北山田富士クラブ、すみれ会、悠々倶楽部 (老人クラブ)
ふれあい友遊 (地区リハビリ)、健康リーグくらぶ (体操)
ふれあい昼食会、健康食ボランティア花ごよみ

目標2 まちぐるみで子どもや青少年の育成に関わろう!

現状と課題

子どもや青少年を地域で見守っていく必要があります。
また、子育て中の親子が、気軽に集まれる場が求められています。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆子どもや青少年が地域とつながりをもつ機会を増やしていきます。
- ◆子育て世代が自由に集う場を作るなど、支援していきます。

赤ちゃん会卒業生が、地域の町内会館で集まっています。



ふれあい昼食会

【推進主体】

町内会、民生委員児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、小・中学校など

目標3 高齢者・障害者の支援をすすめていこう!

現状と課題

1人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯が増えています。困ったときに、お互いに支えあえるしくみづくりが必要です。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆1人暮らし高齢者や高齢者世帯、障害者に、地域で声かけをしていきます。
- ◆高齢者・障害者の外出を支援するため、送迎の取組を続けます。
- ◆障害者や高齢者などだれもが気軽に集まれる場づくりを考えていきます。

転倒骨折予防教室の卒業生が、活動を継続しています。

退職後、地域ケアプラザで活躍したり、地域にとけこもうとしている人もいます。

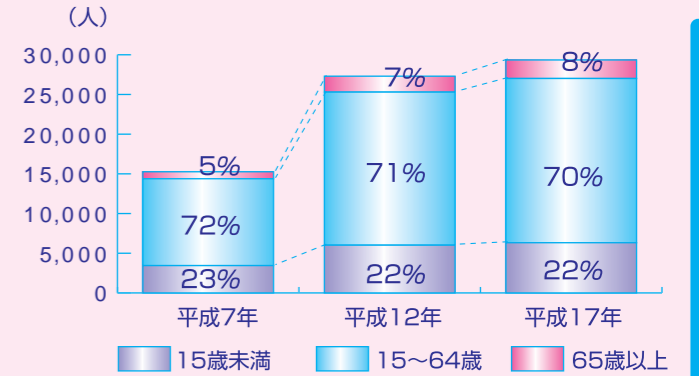
【推進主体】

町内会、民生委員児童委員、地域ケアプラザなど

中川地区



*人口 約29,300人
 *世帯数 約10,700世帯
 *平均世帯人員 2.75人
 *平均年齢 41.3歳
 (平成17年3月現在)



目標 1 様々な活動や行事をきっかけに 顔の見える関係を広げよう！

現状と課題

子どもと高齢者の交流が少なく、また地域にあまり関心のない人や新しく移り住んできた人が増えています。お互いのつながりをつくる必要があります。

防災訓練のときに、芋煮会を開催し、多くの人交流しています。

高齢者会食会は、中川西地区センターで地区社会福祉協議会が開催しています。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆防犯パトロール、わんわんパトロール、ゴミの分別パトロール、けやき並木の清掃などをきっかけとして、顔の見える関係づくりを続けていきます。
- ◆芋煮会、盆踊り、運動会などの行事に多くの人参加するよう、広くPRしていきます。
- ◆子どもと高齢者がふれあう場づくりをすすめていきます。

【推進主体】

町内会、民生委員児童委員、保健活動推進員など



ワイワイまつり



防犯パトロール
〔子育て支援〕

休日園庭開放、おひさま広場（中川西保育園園庭開放）
育児教室

〔高齢者〕

お楽しみ昼食会

このほかにも地域の活動があります

目標 2 地域の情報やルールをみんなへわかりやすく PRしよう！

現状と課題

地域でどんな行事が行われているか、どんなルールがあるかを知らない人がたくさんいるので、地域の情報を共有する必要があります。

ポポラ（都筑区子育て支援センター）や園庭開放など子育て支援の場もPRしていきます！



これからこんなことに取り組みます！

- ◆写真を取り入れるなど、分かりやすい回覧板づくりに取り組みます。
- ◆地域の生活課題（ゴミの分別、防犯、防災など）について、皆で話しあっていきます。

【推進主体】

町内会、民生委員児童委員、保健活動推進員など

目標 3 若い世代に地域活動への参加を呼びかけ、担い手を育てよう！

現状と課題

地域の活動に参加する人が限られているので、若い世代に参加してもらう工夫が必要となっています。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆世代間のつながりや交流を進めるため、地域の行事や活動への参加を呼びかけます。
- ◆若い世代に地域活動やボランティア活動への参加を呼びかけ、担い手を掘り起こします。

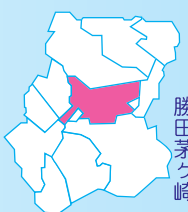


体育祭

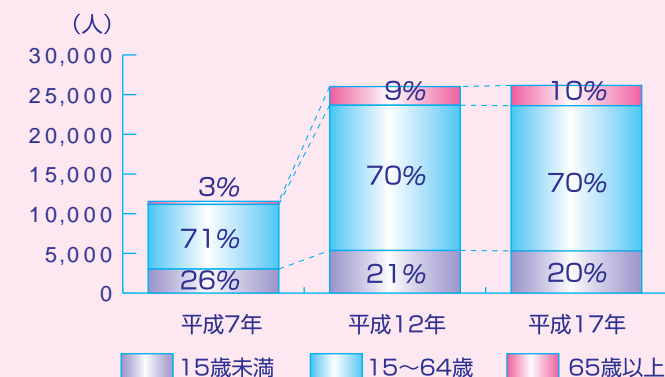
【推進主体】

町内会、民生委員児童委員、保健活動推進員、老人クラブなど

勝田茅ヶ崎地区



*人口 約26,200人
 *世帯数 約10,200世帯
 *平均世帯人員 2.56人
 *平均年齢 35.7歳
 (平成17年3月現在)



目標 1 向こう三軒両隣の顔の見える関係づくりを広げよう!

現状と課題

隣近所のつながりが希薄になっています。顔の見える関係をつくり、交流を広げていく必要があります。

敬老会で中学生が懐かしい昔の曲を演奏し、参加者に大変喜ばれました。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆新旧住民で、行事などをきっかけに、ゆっくり時間をかけてつながりをつくっていきます。
- ◆地域に根付いている活動を、地道に、続けていきます。
- ◆高齢者が集う場をつくって、子どもも含めた多世代の交流を進めていきます。

【推進主体】

町内会自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、保健活動推進員、ボランティア、老人クラブ、子ども会など

目標 2 それぞれができることを活かして、地域活動への参加の裾野を広げよう!

現状と課題

地域にはいろいろな特技をもっている人がいます。それぞれの知恵や力が発揮できるような工夫をし、地域活動へかかわる人を増やしていく必要があります。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆小学生に米づくり、芋づくり、太鼓を教えるなど、町ぐるみで子育て支援を続けていきます。
- ◆地域の施設を気軽に使えるような仕組みをつくっていきます。



【推進主体】

町内会自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、保健活動推進員、小・中学校など

町内会役員が地域の情報を集めて防災マップをつくり、全戸配布しました。

小学生に地域の田んぼで、苗植えなど米のつくり方を教えています。



紅葉めぐり



どんど焼き



このほかにも地域の活動があります

パソコン教室 〔子育て支援〕

育児教室、おひさま広場 (茅ヶ崎・茅ヶ崎南保育園園庭開放) 休日園庭開放 (茅ヶ崎保育園)

〔高齢者〕

茅ヶ崎長寿会、勝田永寿会 (老人クラブ)

目標 3 分かりやすく情報を発信して地域を知ってもらうための工夫をしよう!

現状と課題

回覧板だけでは地域の情報が伝わりにくいの現状です。地域や町内会自治会についての情報を伝えるための工夫が必要です。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆新しく移り住んできた人にもわかりやすいように、町内会自治会の取組をまとめ、情報提供していきます。
- ◆身近な情報を掲示板に貼るなど、伝わりやすい工夫をしています。

【推進主体】

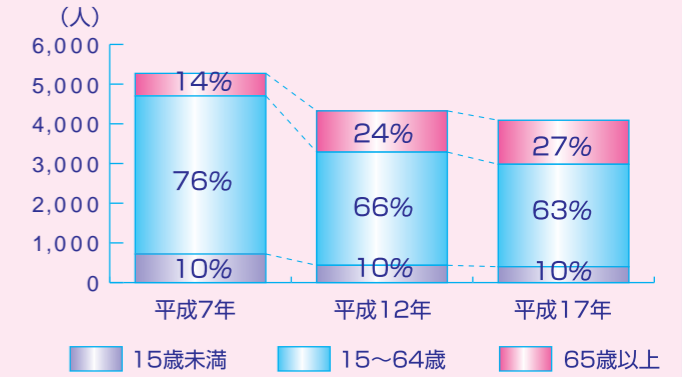
町内会自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員など



かちだ地区



*人口 約4,100人
 *世帯数 約2,000世帯
 *平均世帯人員 2.03人
 *平均年齢 47.5歳
 （勝田団地外の「勝田町」を含む
 平成17年3月現在）



目標 1 世代を超えて出会う機会を増やし 交流を深めよう！

現状と課題 高齢者が増加し、子どもが少なくなっているため、工夫しないと世代を超えた交流がなかなか難しい状況になっています。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆夏の盆踊り又健民祭にはみんなが参加するよう、PRします。
- ◆子どもたちが地域の昼食会へ、お年寄りが小学校へと、互いの活動の場へ足を運びます。
- ◆防犯パトロールなどの活動には、いろいろな世代に参加を呼びかけます。

【推進主体】

自治会
 地区社会福祉協議会
 民生委員児童委員
 保健活動推進員
 老人クラブ
 小・中学校など



ふれあい清掃

市営勝田団地は昭和42年から入居がはじまり、現在1543世帯が入居しています。

盆踊り大会は、中学生が活躍する場となっています！

団地内のパトロールをしながら交流を深めています。

まだいまま活動中！



このほかにも地域の活動があります

かちだ地域支えあい連絡会
 ふれあい清掃 防犯パトロール
 【子育て支援】

子育てサロン、おひさま広場（勝田保育園の園庭開放）

【高齢者】

ゆうあい昼食会（会食会）

ふれあい昼食会せせらぎ（会食会）

勝田団地寿々の会、さわやかクラブ、勝田団地第一東寿会、勝田団地第二東寿会、親和会（老人クラブ）

目標 2 階段ごとの見守りを充実させよう！

現状と課題 団地の特長である「階段委員」を活かした向こう三軒両隣の見守りと支えあいの取組を、これからも推進する必要があります。



これからこんなことに取り組みます！

- ◆「階段委員」を中心に、地域の見守りを進めます。
- ◆ロコミ・横のつながりなどで、地域の情報を伝えていきます。

【推進主体】

階段委員、棟、自治会
 民生委員児童委員など

電気メーターや窓の明かりなどで、一人暮らし高齢者などの様子を、気にかけています。

団地内の清掃の機会などに、近隣の方々の様子を聞き、見守っています。

目標 3 行政や専門家と一緒に、話し合い、新しい知識を生み出していこう！

現状と課題 高齢者が増え、支える人も高齢化（4人に1人が65歳以上）しています。何か新しい知恵が必要です。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆より住みやすい地域にしていくために、生活のルールなどについて、みんなで話しあう機会をつくります。
- ◆話しあいをきっかけに、支えあいのネットワークを広げます。

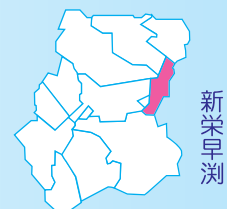


ふれあい昼食会

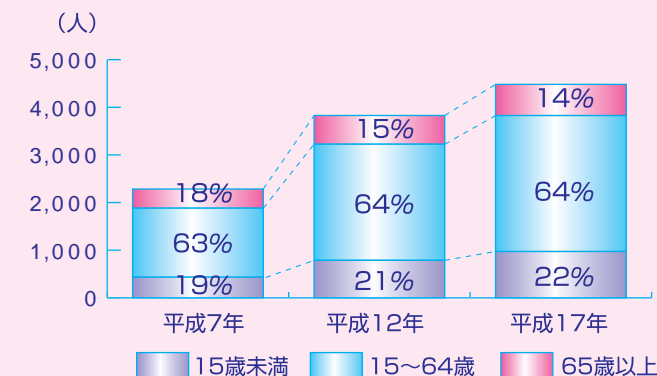
【推進主体】

棟、自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員など

新栄早渕地区



*人口 約4,500人
 *世帯数 約1,800世帯
 *平均世帯人員 2.44人
 *平均年齢 37.1歳
 (平成17年3月現在)



目標 1 地域で人と人がつながるネットワークをつくろう!

現状と課題

新しく移り住んできた人、昼間働いている人などが多く、地域での関係が希薄になっています。人と人のつながりをつくる工夫が必要です。

ゴミ置き場に町内会の「かわら版」などを貼り出しています!

これからこんなことに取り組みます!

- ◆行事や講座をきっかけに、人と人の交流の輪を広げます。
- ◆新しくまちに移り住む人との交流の場や機会をつくります。
- ◆顔の見える関係をつくり、口コミなどで情報を伝えます。
- ◆みんなが見る場所（ゴミ置き場の掲示板など）に地域の情報を貼り出し、情報を伝えます。

町内会自治会で夕涼み会をやっています。たくさんの人の交流の場となっています。

【推進主体】

町内会自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、青少年指導員、体育指導委員、保健活動推進員、子ども会、小・中・高等学校など



芋煮会



夕涼み会



新栄いこいの広場、手話サークルせせらぎ、りんどうの会、はしご倶楽部

【子育て支援】

小学生ボランティアバンク

【高齢者】

北川会、かわせみ会 (老人クラブ)

このほかにも地域の活動があります

目標 2 地域での子育て支援を充実しよう!

現状と課題

近所の知り合いが少なくなっているため、子育てについて気軽に相談できる人や場所が必要です。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆子どもと大人、地域と学校などが交流する機会をつくります。
- ◆「火の用心」パトロールなどをきっかけに、子どもたちとの交流を進めます。
- ◆子育て支援の拠点として、地域ケアプラザを活用します。



保健活動推進員が、「子育て支援 親子で遊ぼう」を開催しました!

【推進主体】

町内会自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、青少年指導員、体育指導委員、保健活動推進員、地域ケアプラザ、コンビニエンスストアなど

目標 3 思いやりの関係づくりを進めよう!

現状と課題

障害者、高齢者など誰もが主体的に地域にかかわるために、一緒に話し合う場が必要です。

これからこんなことに取り組みます!

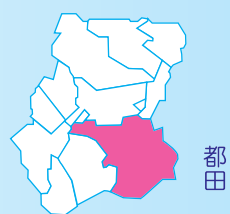
- ◆声かけ・見守りをこれからも行い、思いやりの関係づくりを進めます。
- ◆障害者、高齢者など誰もが地域に参加しやすい場をつくり、地域の課題について一緒に話し合っていきます。
- ◆地域に住む様々な人の立場を考えた防災への取組を進めます。
- ◆地域の拠点の一つとして、コンビニエンスストアを活用していきます。



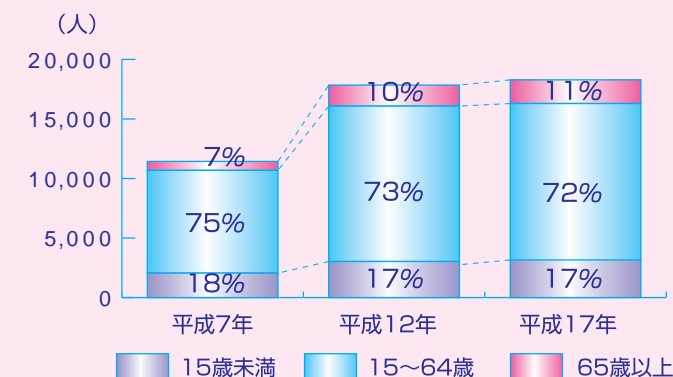
【推進主体】

町内会自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、青少年指導員、体育指導委員、保健活動推進員、老人クラブ、子ども会など

都田地区



*人口 約18,300人
 *世帯数 約7,500世帯
 *平均世帯人員 2.43人
 *平均年齢 37.1歳
 (平成17年3月現在)



目標 1 住民同士の声かけをして地域のネットワークをつくらう!

現状と課題

地域での人と人との関係が希薄になっているので、地域で声かけや挨拶を広げ、地域の支えあいのネットワークをつくっていく必要があります。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆お茶飲み会や健康体操に誘うなど、高齢者への声かけを続けます。
- ◆子育て中の親の不安や悩みを聞き、子育てを地域でサポートします。
- ◆子どもへも声をかけ、地域で子どもを見守っていきます。

一人暮らしの高齢者に、積極的に声をかけています。



【推進主体】

町内会自治会、民生委員児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、子ども会など

目標 3 地域の行事にみんなで参加して交流しよう!

現状と課題

地域の活動や行事を支える人が限られるなどの課題があります。活動の参加者を増やすための工夫が必要です。

芋掘りや祭のような楽しい行事に、若い人も参加しています!

これからこんなことに取り組みます!

- ◆地域の行事を通して、高齢者と子どもなどの世代間交流を図ります。
- ◆子どもの集まるイベントなどをきっかけに、若い世代が楽しく地域の行事や町内会活動に参加できる仕組みを考えます。
- ◆学校と協力して、子どもたちと地域のつながりを広げていきます。

敬老会に若い人が参加して、大変喜ばれています!



竹とんぼ作り



竹とんぼで遊ぶ

【推進主体】

町内会自治会、小・中学校など

目標 2 各団体の横のつながりをもち、協力しあおう!

現状と課題

いろいろな団体が地域で活動していますが、お互いの活動が見えにくい面もあります。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆各団体の活動を共有する場や 機会をつくれます。

【推進主体】

町内会自治会、民生委員児童委員、保健活動推進員、老人クラブ、青少年指導員、食生活等改善推進員など

目標 4 地場野菜を活かして健康づくりをすすめよう!

現状と課題

地場野菜は、地域の特徴のひとつです。地域の健康づくりの取組に、野菜をもっと取り入れていきます。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆地場野菜を活かして、身近な地域への関心を高めます。
- ◆地場野菜の普及をとおして、健康づくりを推進します。

【推進主体】

食生活等改善推進員、町内会自治会、農家など



このほかにも地域の活動があります

都田地区福祉保健活動運営委員会 (地域支えあい連絡会)、ほのぼの健康教室 四つ葉会、ふれあい会、ボランティアはまゆう (配食サービス)

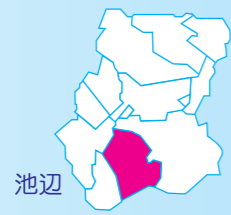
【子育て支援】

育児教室、おひさま広場 (大熊保育園園庭開放)

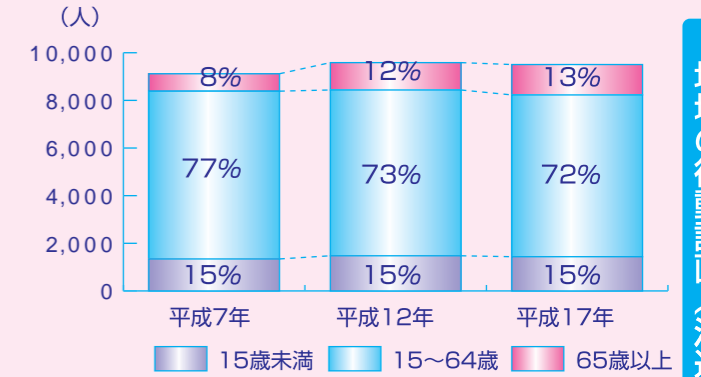
【高齢者】

川向町寿会、大熊おたのしみ会、折本第一寿会、折本第二寿会 東方第一和楽会、東方第二和楽会、葉月会 (老人クラブ)

池辺地区



*人口 約9,500人
 *世帯数 約4,100世帯
 *平均世帯人員 2.31人
 *平均年齢 39.2歳
 (平成17年3月現在)



目標1 地域の活動を一步一步進めていこう!

現状と課題 身近な地域の中で、活動や行事がたくさん続いています。それらを通じて、さらに地域の中でつながりを広げていく必要があります。

どんど焼きなどの行事には子どもたちも参加しています。当日は早く下校させるなど、学校も協力してくれています。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆どんど焼き、健民祭、盆踊りなど、地域の行事をきっかけに関係づくりを進めていきます。
- ◆学校とも協力し、子どもたちが地域へ参加できるように取り組みます。
- ◆それぞれの活動が連携し、情報を共有できる機会をつくれます。
- ◆活動を通じて、子どもや高齢者を地域で見守っていきます。

【推進主体】

自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、青少年指導員、体育指導委員、保健活動推進員、子ども会、ボランティア団体、小・中学校など



歩け大会



このほかにも地域の活動があります

池辺地区地域支えあい連絡会

〔高齢者・障害者支援〕

池辺健康の集い(健康教室・バスハイク・お食事会他)

ボランティアわいわいクラブ(給・配食サービス他)

高齢者クラブ(8団体)

〔子育て支援〕

育児教室

赤ちゃん会

目標2 地域の活動をみんなにPRし、担い手を増やそう!

現状と課題 自治会や子ども会などが中心となり、地域の活動に取り組んでいます。活動の楽しさや魅力を伝え、まずは参加してもらおうようPRしていく必要があります。

身近な地域の活動が続くのは、楽しんでいるから。自治会活動をとおして友人ができた!その魅力を伝えたい。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆自治会のPRチラシを作成するなど、活動をもっと知ってもらえるよう情報伝達の方法を工夫します。
- ◆身近な地域での活動の楽しさや魅力を伝えていきます。
- ◆若い世代の活動への参加を増やし、担い手を育てるように取り組みます。
- ◆情報提供の内容と仕組みづくりについて、行政とともに検討していきます。

【推進主体】

自治会、地区社会福祉協議会、子ども会、民生委員児童委員、青少年指導員、体育指導委員、保健活動推進員など

目標3 あいさつをとおして、顔の見える関係づくりをすすめます!

現状と課題 地域の中で、新旧住民が知り合う機会が少なく、顔の見える関係づくりが課題です。まずはあいさつをとおしてお互いに知り合うことから始める必要があります。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆お互いを知り合える地域になるように、あいさつを続けます。
- ◆新しく移り住んできた人に、声かけをしていきます。

【推進主体】

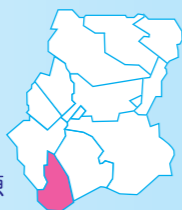
自治会、地区社会福祉協議会、子ども会、小・中学校など



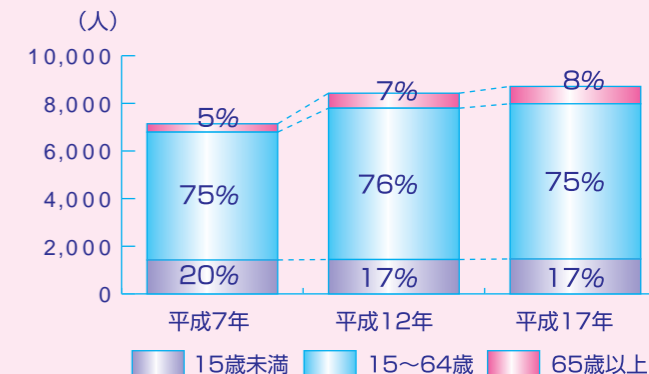
流しうきめん

佐江戸加賀原地区

佐江戸加賀原



*人口 約8,700人
 *世帯数 約3,400世帯
 *平均世帯人員 2.60人
 *平均年齢 36.5歳
 (平成17年3月現在)



目標 1 地域の人々が集まる場などを活用して、ふれあう機会を増やそう！

現状と課題

地域の人々の顔がお互いに見えにくくなっています。楽しい地域の行事などを捉え、地域の人々がふれあうきっかけとなるように工夫が必要です。

地域には運動会、盆踊り、敬老会などたくさんの行事があり、ふれあう機会になっています。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆お祭りなど地域の行事の情報が届くように工夫します。(例えば、ゴミ置き場に掲示するなど)
- ◆昔から住んでいる人と新しく移り住んできた人がお互いに声をかけあって、顔の見える関係づくりを進めます。
- ◆年齢の違う子どもたちがふれあう機会を増やしていきます。

【推進主体】

町内会自治会、民生委員児童委員
 保健活動推進員、子ども会、小・中学校など



もちつき



佐江戸加賀原地域ささえ合い連絡会、ボランティアクラブ、いこい(交流会)グループつばさ、ボランティアはまゆう、ボランティアかがはら

【子育て支援】

育児教室

【子供会】

佐江戸子供会、加賀原クラブ、シンフォニックヒルズ子供会
 ハーモニーヒルズ子供会

【高齢者】

佐江戸第一親和会、佐江戸第二親和会、加賀原やよい会
 加賀原クラブ、加賀原二丁目百寿会(老人会クラブ)

【婦人会】

佐江戸婦人会、地域婦人会

ただいま活動中！



このほかにも地域の活動があります

目標 2 地域の中で人々が活躍する場をつくろう！

現状と課題

地域に関心があっても、地域活動に参加する方法が分からない人々があります。それぞれの知恵や力が発揮できるような環境づくりが必要です。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆若い世代に地域活動への参加方法を知らせます。
- ◆町内会自治会やPTAなどの活動経験者に、活動継続の声かけをしていきます。
- ◆役員OB・熟年層が地域で活躍できる場をつくっていきます。
- ◆地区社会福祉協議会を多くの方に知ってもらい、困った時に安心して相談できる仕組みをつくっていきます。

若い人も問題意識を持っている人が増えています。

【推進主体】

町内会自治会、地区社会福祉協議会
 活動経験者、民生委員児童委員
 保健活動推進員、友愛活動推進員
 など

目標 3 地域の情報をわかりやすく伝える工夫をしよう！

現状と課題

転入してきたばかりの人や町内会自治会に加入していない人にも、地域の活動や行事などの情報が行き渡ることが必要です。

佐江戸加賀原では自治会の新聞を出しています。



ひとり暮らし等定期訪問

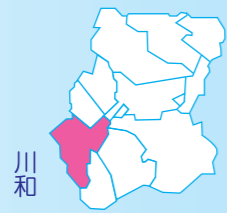
これからこんなことに取り組みます！

- ◆地域の行事や地域活動等の良さをもっとアピールします。
- ◆町内会自治会に入っていない人にも情報が伝わるよう、回覧の工夫、立ち話、口コミなど情報の伝達方法を考え、取り組みます。

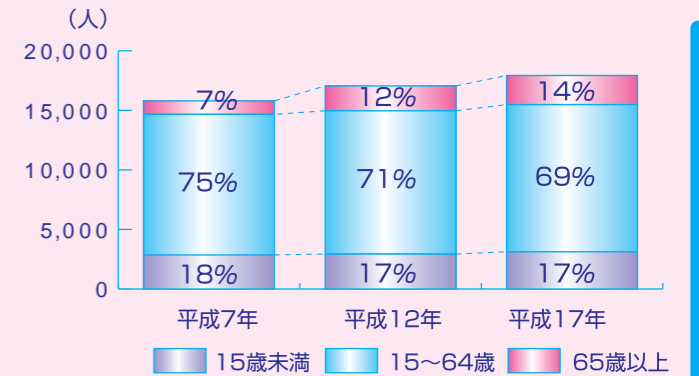
【推進主体】

町内会自治会など

川和地区



*人口 約17,900人
 *世帯数 約6,900世帯
 *平均世帯人員 2.60人
 *平均年齢 38.5歳
 (平成17年3月現在)



目標1 自主的な活動をつなげて 地域活動の輪を広げよう！

現状と課題

地域で自主的な様々な活動が行われています。地域活動の輪を広げるために、自主的な活動が横のつながりをもつことが必要です。

小学生に、昔遊びやミシンの使い方を教えています。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆集まる機会を増やし、話し合いの場を広げていきます
- ◆ふれあいの場や居場所づくりを積極的に推進します。
- ◆地域の行事をきっかけに、地域活動への参加を広げていきます。
- ◆互いの活動を共有する、ゆるやかなネットワークをつくっていきます。
- ◆あいさつからはじめて、顔の見える関係をつくっていきます。

【推進主体】

町内会自治会、地区社会福祉協議会
 民生委員児童委員、保健活動推進員
 老人クラブ、子ども会など



防災拠点訓練



川和連合体育祭



このほかにも地域の活動があります

川和地区連合町内会地域支え合い連絡会

川和リハビリ教室

〔子育て支援〕

育児教室（ラッコの会）、子どもの成長を考える会

〔高齢者〕

川和第一・第二・第三・第四寿会、あじさい会、コスモスクラブ
 見睦会、川和団地シニアクラブ、ふじみ会、つづきが丘クラブ（老人クラブ）
 福寿会ボランティアグループ、ボランティアグループ華の会（会食）
 風とたんぽぽの会、ボランティアはまゆう（配食）

目標2 多様な年齢層の力を地域に還元しよう！

現状と課題

川和地区では早くから福祉保健活動に取り組んでいます。子どもから高齢者まで、地域の人々のかわりを広げていく工夫が必要です。

週2回、地域で防犯パトロールをしています。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆多様な年齢層の力を発掘して、福祉のまちづくりをすすめます。
- ◆送迎の取組をより充実させていきます。

リハビリ教室や会食会など、先進的な福祉のまちづくりを進めています。



【推進主体】

町内会自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、保健活動推進員、PTA、子ども会、老人クラブなど

目標3 地域の情報を伝える仕組みをつくっていこう！

現状と課題

地域での交流が希薄になり、情報が円滑に伝わるのが難しくなっています。住民間で積極的な情報交換を行うとともに、情報伝達の仕組みをつくっていくことも必要です。

これからこんなことに取り組みます！

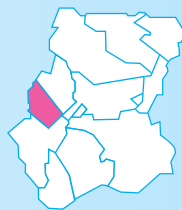
- ◆多様な人がいろいろな形で地域情報を得られるように、情報伝達の仕組みをつくっていきます。
- ◆押し付けでなく、必要な情報・ほしい情報を求められたときに提供できるようにしていきます。

【推進主体】

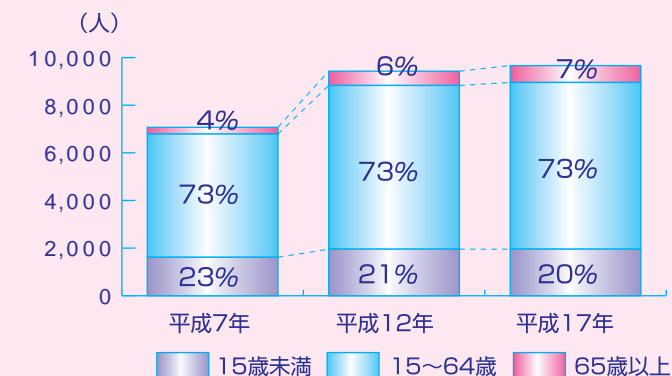
町内会自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員など

荏田南地区

荏田南



*人口 約9,700人
 *世帯数 約3,300世帯
 *平均世帯人員 2.91人
 *平均年齢 34.9歳
 (平成17年3月現在)



地域の行動計画 (荏田南)

目標 1 地域の活動から人の「わ(和・輪)」を広げよう!

現状と課題

転出入者が多い地域なので、まずあいさつから始めて、地域にすんなりととけ込めるような地域づくりが必要です。

犬の散歩時には、気軽に声をかけあっています。

地域で、防犯パトロールを週2回実施しています。声かけのおかげで顔見知りが増えました。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆まず近隣の人からお互いに声かけをし、地域に広がっていきます。
- ◆地域の防犯パトロールなどを通して、あいさつをし、声をかけていきます。
- ◆散歩や通勤時に地域のことを気にかけて、見回り(パトロール)をします。
- ◆子どもには、子どもと同じ目線で、大人から積極的に話しかけていきます。
- ◆地域の情報を口コミなどにより、効果的な方法で伝えていきます。



夏祭り

【推進主体】

自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、体育指導委員、青少年指導員、保健活動推進員、小・中学校など

目標 2 地域活動により多くの人に参加してもらえよう、様々な工夫をしよう!

現状と課題

地域活動を盛んに行っていますが、地域の人に情報が届いていない状況があり、参加者が固定しています。また、地域活動に気軽に参加できる雰囲気をつくる必要があります。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆地域活動に参加したいと思っている人が、活動への一歩を踏み出せるよう工夫します。
- ◆転入者に積極的に声をかけるとともに、自治会活動など地域の活動情報を積極的にPRします。

【推進主体】

自治会、活動団体など



どんど焼き

目標 3 地域のボランティアバンクの活用を進めよう!

現状と課題

地域にボランティアの人材バンクがありますが、活用する人が少ない状況があるので、活用を図る必要があります。

ボランティアバンクでは、草むしりや買い物などのお手伝いをしています。約30人が登録しています。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆より多くの人にボランティアバンクのPRを行い、ボランティア登録及び利用してもらうように工夫します。
- ◆気軽に、ボランティアを頼みたいと言える雰囲気づくりをします。



【推進主体】

自治会、活動団体など

まだいま活動中!



このほかにも地域の活動があります

荏田南支えあい連絡会、パソコン教室、手話サークルモア

〔子育て支援〕

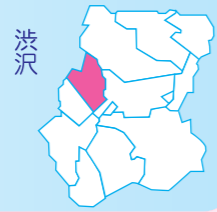
育児教室、おひさま広場(みどり保育園園庭開放)

〔高齢者〕

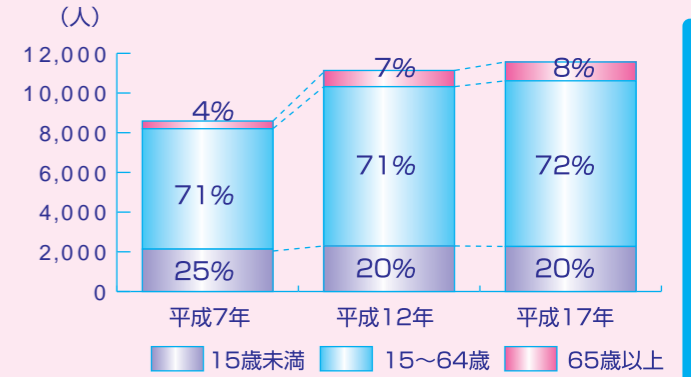
やまぶき会、白桜会、グランノアさくら会、かしの木台ハイツさくら会(老人クラブ)

荏田南健康教室、にこにこサロン、ボランティアバンク、風とたんぽぽ(配食サービス)

渋沢地区



*人口 約11,600人
 *世帯数 約4,100世帯
 *平均世帯人員 2.80人
 *平均年齢 35.2歳
 (平成17年3月現在)



目標1 地域の活動を活かし、人と人のつながりの輪を広げよう！

現状と課題

地域での人と人との関係が希薄になっています。地域の活動をきっかけに、世代を超えた出会いの機会をもち、つながりを広げていく必要があります。

食事会の献立表には手書きで絵が添えてあり、そこから会話が弾み、交流のきっかけになっています。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆地域の人や様々な団体が連携しながら、みんなの関心のあるテーマを活動に取り入れて、地域活動への参加者を増やしていきます。
- ◆食事会や映画会など、すでに行われている活動をとおして顔の見える関係を広げていきます。
- ◆送迎など、活動へ参加しやすい工夫に取り組んでいきます。



▲ 渋沢ふれあい会食の会



【推進主体】

自治会、地区社会福祉協議会
 民生委員児童委員、保健活動推進員（渋沢いきいきクラブ）
 老人クラブ、小・中学校
 子ども会など

目標2 地域の様々な話題や課題をみんなで共有し、できることから取り組もう！

現状と課題

地域の課題を解決していくためには、まず話題や課題をみんなで共有する必要があります。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆地域の話題や課題を、地域全体で共有するための機会をつくっていきます。
- ◆地域の課題に対して、自治会、地域の団体とボランティアグループなどが協力して取り組んでいきます。
- ◆地域の活動で、同じ人に負担がかからないように、みんなでできることから取り組んでいきます。



【推進主体】

自治会、地区社会福祉協議会、ボランティアグループなど

目標3 地域みんなの意見を大切にしよう！

現状と課題

一人ひとりの意見が反映されるまちにすることが大切です。

これからこんなことに取り組みます！

- ◆みんなの意見や声を聞く場を作り、暮らしやすい地域づくりに活かします。
- ◆地域の声を行政に伝え、一方通行でなく協力してまちづくりに取り組みます。



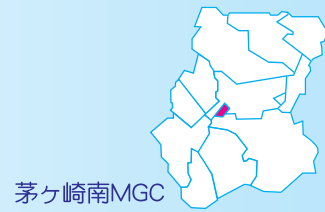
【推進主体】

自治会、地区社会福祉協議会など

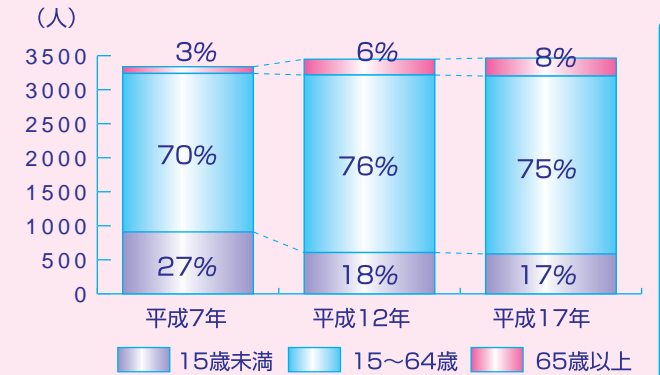


このほかにも地域の活動があります

茅ヶ崎南 MGC地区



*人口 約3,500人
 *世帯数 約1,200世帯
 *平均世帯人員 2.96人
 *平均年齢 36.8歳
 (茅ヶ崎南MGC地区外の茅ヶ崎南4丁目を含む 平成17年3月現在)



目標1 地域の活動をきっかけにして、顔の見える関係をつくろう!

現状と課題

マンションでは転入が多いので、顔が分からなかったり、気軽にあいさつができない状況があります。顔の見える関係をつくっていく必要があります。

あいさつすることを、住民がお互いに心がけています。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆高齢者の体操と子どもの体操を一緒にやるなど、お互いに知り合うきっかけを増やしていきます。
- ◆あいさつをするなどの声かけ運動をします。



夕涼み会



【推進主体】

自治会、地区社会福祉協議会
 民生委員児童委員、保健活動推進員
 子ども会、老人クラブなど



茅ヶ崎南MGC地域支えあい連絡会
 おしゃべりサロン
 (高齢者)
 MGCシニアクラブ(老人クラブ)

このほかにも地域の活動があります

目標2 地域の活動をつないで、協力して地域の課題に取り組もう!

現状と課題

自治会、PTA、子ども会等の活動団体が情報交換をする機会がほとんどありません。お互いの活動内容を共有していく必要があります。

防犯パトロールなどで子どもを見守っています。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆自治会、PTA、子ども会等の活動団体が情報を共有する場をつくっていきます。
- ◆赤ちゃん会や子ども会の活動に、地域の人も関わっていくように工夫します。

【推進主体】

自治会、地区社会福祉協議会、PTA、子ども会など

目標3 健康で暮らすために、地域で保健活動を!

現状と課題

地域では、健康や保健についての話や活動を聞く機会がほとんどありません。

これからこんなことに取り組みます!

- ◆地域の身近な場所で、健康や保健に関する講演会などの機会をつくっていきます。
- ◆地域に住む様々な人が参加できるように工夫します。

【推進主体】

自治会、民生委員児童委員、保健活動推進員など



おしゃべりサロン・都筑中央公園にて

V 地域ケアプラザの行動計画

—地域ケアプラザは地域とともに—

であいささえあいわかちあい

目標1 地域の第一線の相談場所として充実していきます。

- 取組**
- *身近な相談場所として、また土・日曜日にも相談できることをPRします。
 - *高齢者のみならず、障害者、子どもなどの相談を受け、速やかに対応します。
 - *地域の専門家や機関とのネットワークを強化します。
 - *福祉・保健にかかる情報を発信、また地域の情報をキャッチし、提供します。
 - *高齢者虐待などの課題にも、専門機関と連携しながら取り組みます。



相談窓口

目標2 人と人とのつながりを実感できる地域づくりを支援します。

- 取組**
- *生活者の視点から、地域課題の解決に向けた話し合いや、地域での活動をすすめます。
 - *区社会福祉協議会とともに、地域交流事業を展開します。
 - *福祉・保健の活動拠点として、区社会福祉協議会、区民活動センターと連携を図り、ボランティアの活動を支援します。
 - *保育園、幼稚園を始め、小、中、高校、大学などとも連携し、福祉保健学習を進めます。
 - *介護予防への取り組みを充実させます。



地域交流事業

地域ケアプラザとは

誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていくための福祉保健活動拠点です。福祉保健に関する情報提供や相談、地域の福祉保健活動の支援や場の提供、高齢者サービス等地域のニーズにあった様々な福祉保健サービスを提供しています。

| 名称 | 電話番号 |
|---------------|----------|
| 横浜市葛が谷地域ケアプラザ | 943-5951 |
| 東山田地域ケアプラザ | 590-3788 |
| 横浜市加賀原地域ケアプラザ | 944-4641 |
| 横浜市新栄地域ケアプラザ | 592-5265 |

VI 都筑区社会福祉協議会 地域福祉活動計画

活動計画の基本理念

- 地域のみなさまと都筑区社会福祉協議会、行政等が一緒になって地域福祉活動に参加し、知恵と力を出し合って福祉のまちづくりを実践します。
- 地域のみなさまの力が十分に発揮されるように、さまざまな地域福祉活動を支援します。

地域福祉活動計画(略して「活動計画」とは

活動計画は、区社協が地域のみなさま、行政等と一緒に、都筑区の地域福祉推進のために、平成18年度から22年度までの5年間で取り組んでいく目標です。

都筑区役所と協働して策定

活動計画は、都筑区役所と一緒に策定しました地域福祉保健計画の中で、社会福祉協議会の取組として掲載し、区社協を含めて行政や地域等が、今後の都筑区の地域福祉活動を推進していくために、それぞれどのような役割を果たしていくのかについて、地域のみなさまからわかりやすいように作成しています。

地域と協働して事業の推進

区社協は、区内13の地区社会福祉協議会をはじめ、自治会・町内会、民生委員児童委員、ボランティア団体、障害のある方、団体等と連携しながら、地域の会食会、配食会、ボランティア活動等の支援を行っており、また、地域福祉推進に関わる各種事業も実施しています。このような活動、事業をさらに推進していくために、地域のみなさまと一緒に、地域課題の解決に取り組めます。

どんな地域なら、あなたらしく住み続けることができますか？

都筑区社会福祉協議会とは

都筑区社会福祉協議会は、社会福祉法に定められた、地域福祉の推進を図ることを目的に組織されている民間の社会福祉団体です。高齢の方、障害のある方、子ども、働いている方等、誰もが安心して暮らしていくことができる地域福祉社会をつくっていくことを目的として、地域のみなさまや様々な団体、ボランティア、行政機関等の協力を得ながら、地域の福祉課題の解決に取り組んでいます。

社会福祉協議会の主な事業

地区社会福祉協議会活動の支援、ボランティアセンター(ボランティア相談・調整、各種講座の開催等)、外出支援・送迎サービス(移動困難者の移動支援)、福祉保健活動拠点「かけはし都筑」の運営、子育てサポートシステム、障害者関係団体活動の支援、あんしんセンター(高齢、障害者の権利擁護等)、各種広報活動、各種貸付金の相談受付 等



横浜市都筑区福祉保健活動拠点
かけはし都筑

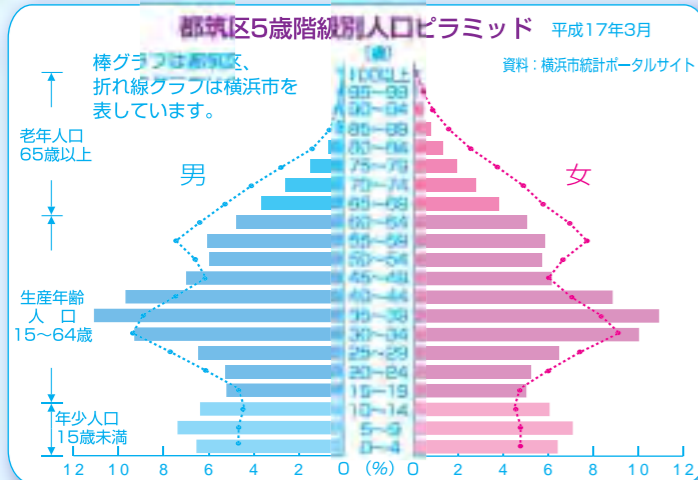
都筑区はこんなまち

都筑区の面積は27.88km²（市内18区中7位）、人口は緑区よりやや多く約17万6千人（市内18区中11位）です。

都筑区の現状

●「子育て世代」が多いまち

区民の平均年齢は36.6歳と市内（市平均41.4歳）で最も若く、乳幼児と子ども（0歳～14歳）が区の人口に占める割合は約20%（市内1位）になっています。



都筑区の福祉・保健関連データ (平成17年3月現在)

介護認定者数（1号被保険者）2,804人（1.6%）
（65歳以上人口に対する割合15.9%）
身体、知的、精神障害児・者数4,027人（2.3%）
外国人登録者数2,274人（1.3%）

都筑区の未来

●2025年まで毎年人口が増えるまち

市内の半数の区が、ここ数年で人口の減少を予測されているのに対して、都筑区は今後も人口が増加し、ピークを迎える2025年には約22万4千人に達すると予測されています。

●超高齢社会が到来するまち

2000年時点で全人口の20.1%を占めていた15歳未満人口は2010年頃をピークに減少に転じ、2030年では10.6%にまで低下します。一方、65歳以上人口は顕著に増加し、2030年には、25.9%にまで高まると予測されます。



資料：横浜市将来人口推計調査（区別推計）（平成17年2月）

VII 都筑区役所と 都筑区社会福祉協議会の行動計画

目標 1

区民による地域の福祉保健活動を支援します

課題

地域では既に様々な地域の支えあい活動が展開されていますが、「参加者が固定化している」「地域で活動をしていることを知らない」「活動できる場所がない」な

どの意見もあります。このため、参加者の掘りおこし、情報の収集・提供、活動場所の確保などができるような支援が必要です。

都筑区役所の取組

- 地域が取り組んでいる活動状況を共有し、情報の提供のあり方を地域と協力して推進します。
- 「地域で取り組んでいる活動や行政の取組の発表会」を開催し、情報の共有や相互交流を図ります。

都筑区社会福祉協議会の取組

- ボランティア等の各種情報紙、ホームページの内容を充実します。
- 社会福祉大会等をきっかけとして、福祉保健活動の輪を広げていきます。
- 区社協ボランティアセンターと区民活動センターが連携し、区内の様々な活動を支援していきます。
- 福祉保健団体間での交流や事業を協働し実施していきます。

目標 2

人と人とのつながりを実感できる地域づくりを支援します

課題

地域のつながりがうすくなっている中で、地域とのつながりを大切にしたいと考えている人々がいます。反面、地域とのつながりをわずらわしいと感じる人々もいます。地域とのつながりを押し付けるのではなく、「であい ささえあい わかちあい」を実感できる豊かな地域づくりが必要です。

都筑区役所の取組

- 区民一人ひとりが1か月で「30人の人とであう」キャンペーンを実施します。
- 「地域とのつながりの大切さについて」等を、健診等あらゆる機会をとおして伝えていきます。
- 児童や保護者に「地域とのつながりの大切さについて」等を、学校と連携し、伝えていきます。
- 自ら「困ったときの助け」を求められることができ、また「自分のできること」を地域で伝えられる関係づくりを推進します。
- 子ども、青少年、子育て中の人、高齢者、障害者と近隣の人々がお互いにふれあい、理解しあう機会をつくることを支援します。

都筑区社会福祉協議会の取組

- ボランティア活動をしたい人と、ボランティアを求めている人との橋渡しを行い、人と人とのつながりをつくっていきます。
- ちょっとした助けあいの輪が地域で広がるように、講座や啓発イベントの実施を通じて、ボランティアを増やしていきます。
- 地域福祉の推進を図っていくために、地域通貨が地域に広まっていくような取組等を支援していきます。



目標 3

地域活動の「担い手、受け手」の人や活動を結びつける人材育成を支援し、地域活動をさらに活発にします

課題

地域には、人のために何かをしたいと考えている人は多くいます。一方で、ちょっとしたことなどを「手伝って」となかなか言い出せない人もいます。それを結びつける人材を育成するとともに、「こんなことが困っているから手伝ってほしい」と誰もが気軽に言えて、ちょっとしたお手伝いができるような環境や、情報提供の仕組みを整備していく必要があります。

都筑区役所の取組

- 地域活動へ参加するきっかけづくりとしての講習会を開催し、ボランティア活動などを支援します。
- 地域で活動している人々がより活動しやすくなるためのコーディネート研修等を開催します。

都筑区社会福祉協議会の取組

- 住民の活動場所まで出向いて、地域活動をしていくために必要な手法、先進事例等を教える福祉出前講座を開催していきます。
- 各種ボランティア講座の開催を通じて、より多くの方々にボランティア活動を知っていただく機会を増やします。

目標 4

健康な暮らしづくりをすすめます

課題

健康な暮らしづくりは、活力のある地域社会をつくる重要な要素です。生活習慣病の予防につながる健康情報や区の特性である若い世代への健診機会の提供などが求められています。

都筑区役所の取組

- 若い世代が、自らの健康は自らで守る意識を育てるために、健診機会を提供します。
- 地場野菜をきっかけとした食育や運動など、地域で取り組む健康づくりをすすめます。



目標 5

子育て支援・青少年の育成支援を充実します

課題

都筑区は区民の平均年齢が若く、乳幼児や子育て世代が多いことから、区民が安心して子育てできる環境の整備が課題となっています。また、居住年数が短く、地域とのつながりが希薄な子育て世代が多く見られるため、家庭・地域・学校・行政等が協働して、地域全体で見守り、支えあう社会をつくっていく必要があります。

都筑区役所の取組

- 社会資源を活用するなど、身近な地域での親子の居場所づくりを充実します。
- 子育て支援の拠点を設置するなど、子育て支援情報提供の仕組みづくりをすすめます。
- 「家庭」と、「地域」の“育てる力”を向上させるための取組をすすめます。
- 子育て家庭と地域にいる様々な人々が交流する機や、身近な地域での仲間づくりを支援し、みんなで子どもと家庭を見守る環境づくりをすすめます。
- 障害の特性を理解した対応や配慮を行うとともに、障害児への理解を深める機会の充実に取り組みます。

都筑区社会福祉協議会の取組

- 「子どもを預かってほしい人」と、「子どもを預かれる人」が会員として登録し、会員相互の責任と信頼関係のもとに、子育ての支援を行う、横浜子育てサポートシステム事業を通して、子育て支援をすすめます。
- 青少年向けの職業体験講座を開催していきます。
- 児童・生徒が福祉に対する理解を深めるために学校と障害者、ボランティア団体等と連携して福祉教育を推進します。

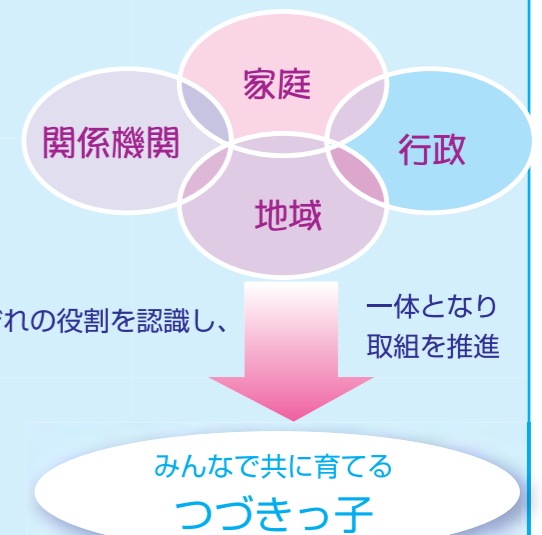
都筑区地域子育て支援 プランの概要

● プランの基本的な考え方

- 区民との協働、みんなでつくるまち
- 新しい子育てコミュニティづくり
- 大人も子どももより輝き、より豊かな人生がおくれる、ともに育つ社会づくり

● 基本的目標

- 子育てに楽しみや喜びが感じられる親子の居場所づくり
- 子育て支援情報提供の仕組みづくり
- 家庭や地域の“育てる力”の向上
- みんなで子どもと家庭を見守る環境づくり
- 障害児とその家族等への支援



都筑区役所と都筑区社会福祉協議会の行動計画

目標 6

高齢者・障害者が安心して暮らせる地域づくりをすすめます

課題

毎年多くの人が転出入する都筑区では、居住年数が短いため地域社会との接点が少なかったり、なかなか地域の近隣関係が築けず不安を感じている高齢者や障害者がいます。また、現在の高齢化率は約10%ですが、今後、高齢化が急速に進展すると見込まれます。高齢者や障害者が地域とのつながりを持ち、安心して暮らせる地域づくりが必要です。

都筑区役所の取組

- 障害者の地域社会への参加を推進し、障害者が健康にいきいきと暮らし続けられるよう、「障害者と地域の人々との交流の場づくり」や「就労の促進」等に取り組めます。
- 高齢者が孤立しないよう、「地域住民の顔の見える関係づくり」を進めるとともに、認知症や虐待等に対する適切な支援に取り組めます。
- 高齢者が健康にいきいきと暮らし続けられるよう、地域において介護予防等の活動をしている自主グループの取組成果について発表の場を設け、意欲の向上を図ります。

都筑区社会福祉協議会の取組

- 行政と連携しながら、災害時における区社協の位置付け、役割を明確にした上で、ボランティア派遣体制等を整備していきます。
- さまざまな障害を理解するための各種講座を開催します。
- 移動困難者に対する移動支援や地域ボランティア送迎活動への支援、介助ボランティア育成などに取り組んでいきます。
- 成年後見制度を含めた権利擁護事業の地域展開を促進します。
- 障害者が地域において安定した自立生活が送れるよう関係団体、機関等との連携を強化し、事業展開を検討していきます。

都筑区地域福祉保健計画発刊にあたって

今回、「都筑区地域福祉保健計画」策定に参加させていただき、地域社会の助け合いの大切さを再認識しました。

人と人との「であい ささえあい わかちあい」これが私たちが、今回、計画を創るにあたり選んだ言葉です。都筑区の住民の皆様が、この言葉どおりに子どもたち、高齢者、障害を持つ人々に優しくふれあい、助け合えば、今以上に住みよい都筑区になるでしょう。

計画には、地域ごとにどのような助け合いが行われているかを、できるだけ具体的に記載してあります。皆様がこの冊子をお読みにになり、少しでも地域の活動に参加してみようと思ひ、顔を出していただければ計画が成功したことになるでしょう。住民の皆様の参加を心よりお待ちしております。

都筑区地域福祉保健計画策定委員会委員長 大山学

『都筑区地域福祉保健計画』は、平成16年度から2か年をかけ、人と人との「であい ささえあい わかちあい」を基本理念とし、地域・団体・区役所が一体的に策定しました。

この計画の特長の一つである地域計画は、13連合町内会自治会エリアごとに開催した地域懇談会で、地域の皆様が主体的に、生活課題やそれを解決するための取組内容、地域の特色を活かした目標を定めたものです。都筑区では初めての地域ごとの計画であり、大変意義深いものです。

「計画」を実現していくためには、より多くの区民の皆様や関係団体が、これまで以上に自分たちの地域に関心を高めていただくとともに、区役所と協働して力を発揮していただくことが大切です。また、区役所もこの計画に基づき、福祉保健のまちづくりをすすめてまいります。

都筑区長 伊藤秀明

都筑区社会福祉協議会は、地域の方々から「自分たちの地域は、自分たちで良くしていこう」という気持ちで組織している民間の社会福祉団体です。

都筑区役所が策定した「地域福祉保健計画」と本会が策定した「地域福祉活動計画」は、ともに地域福祉の推進をめざすものとして、連携しながら策定しており、今後の地域福祉推進についても協働して取り組んでいきます。

これからは、誰もが暮らしやすいまちづくりへ向けて、地域住民相互のたすけあいが重要だと実感しております。より身近な地域でお互いが、「であい ささえあい わかちあい」の基本理念を実現できるまちづくりを地域の皆様と一緒に推進してまいります。

都筑区社会福祉協議会会長 葛城静雄

目標 7

区民(地域)・団体・企業等と行政が、地域課題に対して協働で取り組む体制の充実を図ります

課題

「であい ささえあい わかちあい」のまちづくりを推進するため、お互いに目標に向けての取組状況を確認しあい、地域で関心の高い防犯、防災についても、協働の体制を充実していくことが必要です。

都筑区役所の取組

- 区民・団体等の自発的・主体的活動に対する支援の仕組づくりをすすめます。
- 地域課題を円滑に解決するため、職員の地域担当制を進め、地域の活動を支援します。さらに、区の職員一人ひとりが1か月で「30人の区民とであう」キャンペーンを実施します。
- 「であい ささえあい わかちあい」の視点を持ち、区民サービスにつとめます。
- 区民(地域)、関係団体、企業等と行政が協働して、「福祉保健のまちづくり」や、地域の防犯、防災の取組を推進します。

都筑区社会福祉協議会の取組

- 区内13の地区社会福祉協議会活動を支援し、地域課題に対応するために地区社会福祉協議会と協働して取り組めます。
- 善意銀行及び共同募金の有効活用を図るため、地域福祉推進に貢献する事業へのより効果的な配分・助成の仕組を検討していきます。
- 区内の全地域ケアプラザと共催して、地域住民に向けた事業を展開していきます。
- 民間企業向け福祉教育講座を開催していきます。
- 高齢者、障害者、子どもを含めて誰もが活用できるバリアフリーマップを地域の様々な団体と協働して作成します。

都筑区地域福祉保健計画策定委員

| | 氏名 | 団体名等 |
|------|--------|-------------------------|
| 委員長 | 大山 学 | 区医師会 |
| 副委員長 | 海谷 嘉雄 | 区連合町内会自治会 |
| | 荒田 久美子 | 地区社会福祉協議会 |
| | 蛭名 さゆり | 区障害児・者福祉団体連絡協議会 |
| | 菊賀 静子 | 区保健活動推進員会 |
| | 木村 謙吾 | 区産科医協会 |
| | 佐藤 栄子 | 区民生委員児童委員協議会 |
| | 田中 千津子 | 介護老人保健施設「都筑ハートフルステーション」 |
| | 田中 睦子 | 区墓務委員会 |
| | 永田 麗子 | 区友愛活動推進員 |
| | 堀 孝子 | 横浜市青葉区地域ケアプラザ |
| | 松田 栄子 | 都筑区センター訪問看護ステーション |
| | 望月 淳一 | こづき地域活動ホーム「くさぶえ」 |
| | 横山 静江 | 区食生活改善推進員会 |
| | 吉川 信江 | 区社会福祉協議会ボランティア部会 |
| | 吉野 富雄 | 主任児童委員 |
| | 渡邊 真弓 | NPO法人フォーカスコレクティブふれあい都筑 |
| | 青柳 広美 | 公募区民 |
| | 網屋 正子 | 公募区民 |
| | 久野 宏 | 公募区民 |
| | 齊藤 禮二 | 公募区民 |
| | 藤村 松子 | 公募区民 |
| | 母良田いづみ | 公募区民 |
| | 山田 裕子 | 公募区民 |
| | 川原 美智子 | 田園調布学園大学人間福祉学部 |
| | 岡部 利明 | 区社会福祉協議会 |
| | 一澤 恒夫 | 区福祉保健センター |

五十音順 敬称略 平成18年1月現在